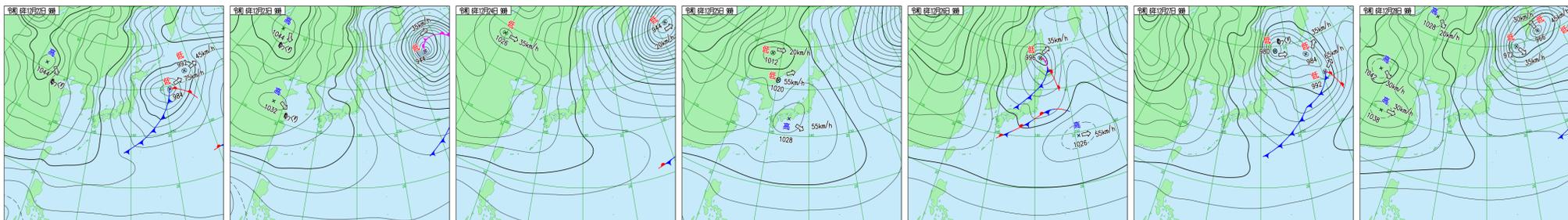


■天気図（12月22日～12月28日 ※毎日午前9時を掲載）



【今期間の天候について】

■気圧配置の特徴

22日、2つの低気圧が千島の東と三陸沖をそれぞれ東寄りに進み、日本付近は冬型の気圧配置が強まった。23日、南シナ海で台風26号が発生。本州付近は24日にかけて冬型の気圧配置が継続した。25日、本州付近は高気圧に覆われ冬型の気圧配置が緩んだ。朝は日本海西部で低気圧が発生、次第に前線を伴い発達しながら北東進した。夕方頃、台風26号は南シナ海で熱帯低気圧に変化。26日、高気圧の中心が日本の東海上に移動。日本海の低気圧は前線を伴い、発達しながら日本海北部を北東進、サハリン付近を通過。日本の南海上には別の前線が形成され、夜には日本の東海上の前線上に低気圧が発生した。27～28日、オホーツク海の低気圧は千島近海へ、千島近海の低気圧はカムチャッカ半島へ、日本の東海上の低気圧は北寄りにそれぞれ進み、本州付近は冬型の気圧配置が強まった。日本海西部から中部では、JPCZが北陸付近に指向した。

■降水

22日、冬型の気圧配置が強まり、北日本から東日本の山沿いを中心に大雪となり、長野県、群馬県で大雪警報が発表された。長野県の信濃町、群馬県の藤原で48cm/12hの降雪量。下関、福岡では初雪を観測。23日、日本海側で断続的に雪が降り続き、青森県の酸ヶ湯では、12月としては統計史上最大となる298cmの積雪深を記録。24日、日本海側で雨や雪が続き、青森県の酸ヶ湯では12月中旬に観測開始以来初めて積雪深が3mを超えた。25日、本州付近は高気圧に覆われて冬型の気圧配置が緩んだ影響で、各地で降水が少なかった。26日、前線を伴う低気圧の影響で北日本日本海側や西日本を中心に雨や雪、北日本や北陸の山沿いでは雪となった。27日、冬型の気圧配置が強まり、北日本の山沿い中心に大雪。青森県の酸ヶ湯では積雪深が再び3mを超え。28日も冬型の気圧配置が続き、JPCZが北陸地方付近に指向。新潟県の津南町では日最大積雪深221cmを記録した。和歌山では初雪を観測。

■気温

22日、上空の強い寒気の流入と夜間の放射冷却の強まりにより、北海道の幌加内では-26.1℃を観測。今季全国で初めて-25℃を下回った。23日、本州付近は引き続き上空に強い寒気が流れ込み、日中は仙台で4℃、名古屋で8.1℃までしか上がらず、今季一番の冷え込みとなった。24日、引き続き上空に寒気が流れ込み、東京都心は最低気温が1.8℃で1月上旬並みとなった。25日、朝は放射冷却による冷え込みが厳しかったが、冬型の気圧配置が次第に緩み寒気が北上したため、真冬日地点が2週間ぶりに100地点を下回る75地点にとどまった。26日、南からの暖かい空気の流入により各地で気温上昇、東京都心では最高気温が14.7℃で前日と比べて3.5℃高かった。27日、本州付近は強い冬型の気圧配置となって寒気が南下、真冬日地点は今季最多の225地点となった。28日にかけて強い寒気が居座ったため各地で冷え込み、大阪では最高気温9.4℃で1月中旬並みの寒さとなった。

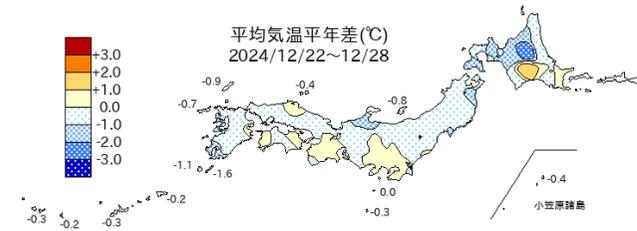
■今期間（12月22日～12月28日）の天候のまとめ

平均気温は、冬型の気圧配置が続き上空に強い寒気が流れ込んだ日が多かったため、平年を下回る所が多かった。旭川で平年より2.5℃低く、北海道幌加内では22日に、今季全国最低となる-26.1℃を観測した。

降水量は、冬型の気圧配置が続いたことにより、北日本日本海側から北陸を中心に雨や雪の天気が続いて、東北・北陸で降水量が多かった。金沢では期間を通して平年の約1.9倍の降水量となった。一方太平洋側は期間を通して晴れの日が続き、仙台、前橋、東京、名古屋、大阪、高知、宮崎では降水量0mmとなった。

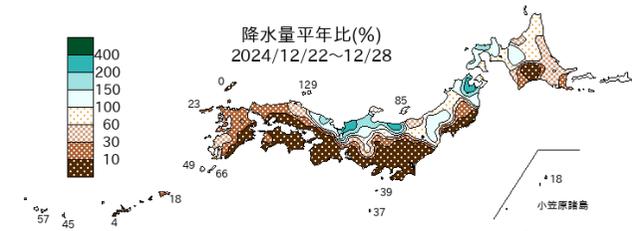
日照時間は、雨や雪の日が続いた東北日本海側から北陸を中心に平年より少なく、秋田、金沢では平年よりもかなり少なかった。一方太平洋側では晴れの日が続いたため、平年よりもやや多い日が多くなった。

■平均気温（℃）と平年差（℃）



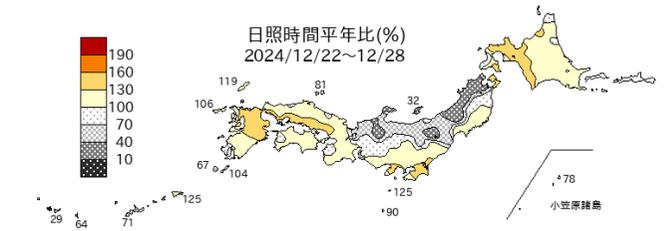
札幌	-2.8(-0.9)	旭川	-7.8(-2.5)
網走	-3.5(-0.0)	釧路	-3.3(-0.1)
室蘭	-1.1(-0.7)	秋田	1.7(-0.1)
仙台	2.9(-0.6)	前橋	5.1(+0.1)
東京	7.0(+0.4)	長野	0.4(-0.5)
新潟	4.1(-0.2)	金沢	4.6(-1.1)
名古屋	5.7(-0.3)	大阪	7.7(+0.1)
松江	6.6(+0.6)	広島	6.5(-0.1)
高知	7.2(-0.6)	福岡	7.5(-0.7)
長崎	7.6(-0.9)	宮崎	8.3(-0.5)
鹿児島	8.5(-1.4)	那覇	17.9(-0.3)

■期間総降水量（mm）と平年比（％）



札幌	16.0(59)	旭川	20.0(95)
網走	4.5(33)	釧路	4.5(41)
室蘭	8.5(62)	秋田	29.0(87)
仙台	0.0(0)	前橋	0.0(0)
東京	0.0(0)	長野	10.5(84)
新潟	17.0(39)	金沢	120.0(193)
名古屋	0.0(0)	大阪	0.0(0)
松江	11.0(33)	広島	1.0(11)
高知	0.0(0)	福岡	3.5(26)
長崎	6.5(49)	宮崎	0.0(0)
鹿児島	8.0(54)	那覇	1.0(4)

■日照時間の平年比（％）



札幌	161	旭川	123	網走	105
釧路	114	室蘭	99	秋田	30
仙台	123	前橋	110	東京	127
長野	68	新潟	71	金沢	37
名古屋	77	大阪	114	松江	115
広島	135	高知	129	福岡	142
長崎	121	宮崎	116	鹿児島	96
那覇	71				